

| | |
|---|--|
| 【技術の名称】 KS-Wall構法 ー鹿島式鉄骨系骨組ーRC耐震壁架構ー | 性能証明番号：GBRC 性能証明 第 25-09 号 性能証明発効日：2025 年 6 月 9 日 【取得者】 鹿島建設株式会社 |
|---|--|

【技術の概要】

本技術は、RC 造の耐震壁の左右両側を CFT 柱または SRC 柱で、上下のいずれか少なくとも一方を S 梁で囲われた鉄骨系骨組において、当該 RC 造耐震壁と鉄骨系部材との間に孔あき鋼板ジベルによる応力伝達機構を設けて一体化した架構を構築するものである。

【技術開発の趣旨】

CFT 造柱と S 梁からなる鉄骨系建物の地下階において RC 造の耐震壁を構築する場合、骨組と耐震壁の一体性確保や壁筋の定着の観点から、耐震壁の周辺骨組を SRC 造に切り替える設計が採用される場合が多い。しかし、地下骨組を SRC 造に切り替えることで、地上部の箱形断面を用いた CFT 柱から地下部のクロス H 形断面へのスムーズな応力伝達性の確保の問題や、地下階の柱梁の部

材断面が大きくなるなどの建築物の使用性や施工上の課題も同時に生じてしまう。これらの課題を解決することを目的に、地下階の鉄骨系骨組に RC 耐震壁を構築する構法を開発した。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「KS-Wall 構法 設計施工指針」に従って設計・施工された鉄骨系骨組と鉄筋コンクリート造耐震壁による架構は、短期荷重時において、周辺骨組と鉄筋コンクリート造耐震壁の間に有害なすべりや開きが生じず、修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない、また、同指針で定める短期許容耐力および終局耐力を有する。

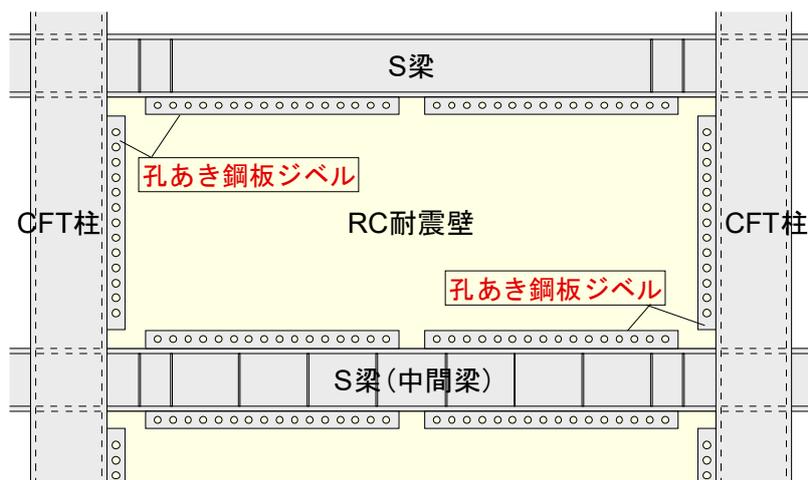


図-1 構法の概要

【本技術の問合せ先】

鹿島建設株式会社 担当者：高稲 宜和
〒182-0036 東京都調布市飛田給 2-19-1

E-mail：takaine@kajima.com
TEL：070-2820-5657